

事業評価書

補 助 事 業 名	上富良野演習場関連公共用施設(交通施設：泉町3丁目2条通り改良舗装)整備事業						
補 助 事 業 者 名	上富良野町長						
実 施 場 所	上富良野町泉町						
補 助 事 業 の 成 果 の 目 標	上富良野町内の住宅街に隣接している道路については、町民の生活環境を確保すべく、補修及び改良舗装工事を計画的に実施しているところである。 当該町道泉町3丁目2条通りは、昭和60年代から平成始め頃に簡易舗装工事を実施し、維持管理してきたところであるが、整備後20年以上経過し、老朽に伴う劣化が著しいことから、町民の生活環境の確保を目的として、改良舗装工事を実施するものである。						
補 助 事 業 の 内 容	全 体：実施設計 一式 改良舗装工事 L=57.5m, W=4.0m 本 年 度：改良舗装工事 L=57.5m W=4.0m						
補 助 事 業 の 始 期 及 び 終 期	全 体：令和6年度～令和7年度 本 年 度：令和7年7月～令和8年1月						
事 業 費 及 び 交 付 金 額		令和6年度	令和7年度	令和8年度 予定	令和9年度 予定	令和10年度 予定	計
	事業費	円 2,035,000	円 23,122,000	円	円	円	円 25,157,000
	交付金額	1,800,000	23,000,000				24,800,000
補助事業の成果及び評価並びに 地域住民への周知の実施状況	本事業実施後、定期的な巡回により、路面の凹凸が解消されたことが確認されたほか、沿道を含めた地域住民数名に対し、聞き取りを行った結果、道路の状況について全員から「改善された」と回答を受け、町民の生活環境が改善されたと評価できる。 また、特定防衛施設周辺整備調整交付金事業である旨を周辺住民に配付する「道路工事実施のお知らせ」と工事中の案内看板を利用し周知を図った。						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も地域住民の理解を得ながら事業を実施する。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補 助 事 業 名	上富良野演習場関連公共用施設（消防に関する施設：救急車電動ストレッチャー購入）整備事業						
補 助 事 業 者 名	上富良野町長						
実 施 場 所	富良野広域連合上富良野消防署（北海道空知郡上富良野町大町2丁目2番46号）						
補 助 事 業 の 成 果 の 目 標	電動ストレッチャー及び電動ファスナーを取付けることにより、患者搬送時のストレッチャー上下操作時及び車両への搭載、車両からの下ろし作業時の患者に対する振動やショック及びストレッチャーの転倒事故の軽減を図る。 また、今後見込まれる女性隊員の増加や定年延長などによる救急隊員の高齢化への対応及び雪面での搬送効率向上により、安全かつ速やかな救急活動を図る。						
補 助 事 業 の 内 容	消防用物品 一式						
補 助 事 業 の 始 期 及 び 終 期	令和7年9月～令和7年11月						
事 業 費 及 び 交 付 金 額		令和6年度	令和7年度	令和8年度 予定	令和9年度 予定	令和10年度 予定	計
	事業費	円	円 10,120,000	円	円	円	円 10,120,000
	交付金額		9,100,000				9,100,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	消防隊員に聴き取り調査を実施したところ、本事業を実施したことにより、患者搬送時のストレッチャー上下操作時及び車両への搭載、車両からの下ろし作業時の患者に対する振動やショック及びストレッチャー転倒事故のリスクが軽減されたことが確認できた。これにより、消防隊員の安全性の向上及び住民の安全の確保に寄与していると評価することができる。 本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金により実施されている旨を町ホームページ及び機器本体に掲載し、本事業に係る地域住民への周知を図った。						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も適切な管理を行いながら計画的に事業を実施する。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補 助 事 業 名	上富良野演習場関連公共用施設(交通施設：街路灯LED化)整備事業						
補 助 事 業 者 名	上富良野町長						
実 施 場 所	上富良野町西町・光町・富町・大町・本町・宮町・旭町・栄町・中町・日の出地区						
補 助 事 業 の 成 果 の 目 標	上富良野町内の街路灯については、町民の生活環境を確保すべく、維持的補修を計画的に実施しているところである。 当該路線については、昭和60年代から平成始め頃に街路灯整備を実施し、維持管理してきたところであるが、整備後20年以上経過し、老朽に伴う不点灯が著しいことから、町民の生活環境の確保を目的として、街路灯LED化を実施するものである。						
補 助 事 業 の 内 容	全 体：改修電気工事 一式 本 年 度：改修電気工事 N=105灯（10路線）						
補 助 事 業 の 始 期 及 び 終 期	全 体：令和7年度～令和9年度 本 年 度：令和7年8月～令和8年1月						
事 業 費 及 び 交 付 金 額		令和6年度	令和7年度	令和8年度 予定	令和9年度 予定	令和10年度 予定	計
	事業費	円 17,284,300	円 23,000,000	円 23,000,000	円 23,000,000	円	円 63,284,300
	交付金額		15,900,000	23,000,000	23,000,000		61,900,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	本事業実施後、定期的な巡回により、街路灯の不点灯が解消されたことが確認されたほか、沿道を含めた地域住民数名に対し、聞き取りを行った結果、街路灯の状態について全員から「改善された」と回答を受け、町民の生活環境が改善されたと評価できる。 また、特定防衛施設周辺整備調整交付金事業である旨を工事期間中の案内看板を利用し周知を図った。						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も地域住民の理解を得ながら事業を実施する。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補 助 事 業 名	上富良野演習場関連公共用施設（社会福祉施設：上富良野町ラベンダーハイツリフト付きワゴン車更新）整備事業						
補 助 事 業 者 名	上富良野町長						
実 施 場 所	上富良野町ラベンダーハイツ（上富良野町西１線北２４号）						
補 助 事 業 の 成 果 の 目 標	上富良野町ラベンダーハイツは地域の介護拠点として、特別養護老人ホーム、デイサービスセンター、ショートステイを公設公営により運営している。これらの介護サービス利用者の送迎及び医療機関受診の際には、リフト付きワゴン車を使用している。 しかし、購入から１０年が経過し、走行距離の増加及び老朽化が著しく、また故障による修理期間が必要となるなど送迎に支障をきたしている。 本事業でリフト付きワゴン車を整備することにより、施設利用者に対して安全かつ快適な介護サービスの提供を行うことを目的とする。						
補 助 事 業 の 内 容	リフト付きワゴン車 １台						
補 助 事 業 の 始 期 及 び 終 期	令和７年９月～令和８年２月						
事 業 費 及 び 交 付 金 額		令和６年度	令和７年度	令和８年度 予定	令和９年度 予定	令和１０年度 予定	計
	事 業 費	円	円 4,923,255	円	円	円	円 4,923,255
	交付金額		4,700,000				4,700,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	本事業において同車両を更新したことで、老朽化に起因する故障などによって送迎に支障をきたすことへの懸念が解消された。 また、施設の従業員に聞き取り調査を行ったところ、以下のような評価が得られた。 ・走行時に足回りの異音がなくなり、送迎でも快適な環境が整備された。 ・施設利用者から、更新後の車両は快適で過ごしやすく、手すりがあり乗降りしやすいという声が上がっている。 以上のことから、本事業の実施により、施設利用者に対してより安全かつ快適な介護サービスの提供が行えるようになったことが確認できた。 本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金をもって実施されている旨を以下に記載し、利用者及び地域住民に対し周知を図った。 ①同施設内に掲示 ②町ホームページに掲載 ③車両本体に記載						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も適切な管理を行いながら計画的に事業を実施する。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	上富良野演習場関連公共用施設（社会福祉施設：保健福祉総合センターホイルローダー更新）整備事業						
補助事業者名	上富良野町長						
実施場所	上富良野町保健福祉総合センター（上富良野町大町2丁目8番4号）						
補助事業の成果の目標	上富良野町保健福祉総合センターは、平成16年11月の開設以来、健康遊浴施設、生きがい・健康づくり施設、在宅福祉施設などを兼ね備えた福祉施設の拠点として、本町の住民に必要不可欠な施設です。利用者は乳幼児から高齢者まで幅広く、各種住民健診、子育て支援、高齢者や障がい者への福祉サービスを提供しており、プールでの水中運動の利用、団体での軽体操、認知症予防など利用目的も多岐に渡っています。 本施設の駐車場は約4,090㎡あり、除雪作業については、平成16年12月13日に中古購入した平成12年製のホイルローダーを使用し、町が業務委託をしている施設管理業務員が行っています。この間、修繕をしながら車両を維持してきたところですが、令和6年10月の車両メーカーによる特定自主検査において、バケットをリフトアームに固定する役割を担うセンターピンの締め付けボルトに折損が発見され、多額の修繕費用がかかることと今後の使用に危険性が指摘されています。 本事業を活用して除雪用ホイルローダーを更新することで、冬期間における安定した施設の運営及び施設利用者が安全かつ快適に施設を利用することを目的とします。						
補助事業の内容	ホイルローダー 1台						
補助事業の始期及び終期	令和7年6月～令和7年9月						
事業費及び交付金額		令和6年度	令和7年度	令和8年度 予定	令和9年度 予定	令和10年度 予定	計
	事業費	円	円 3,951,600	円	円	円	円 3,951,600
	交付金額		3,600,000				3,600,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	本事業においてホイルローダー更新できたことにより、故障による事故の懸念等が解消された。施設管理業務員からは「今回購入された車両は、前車両と比べ性能が良くなり、バケットも大きくなったことから、除雪作業の効率が上がった」と報告を受けている。以上のことから「町民の利便性の向上に繋がった」と評価をしている。 なお、本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金をもって実施されている旨を次のとおり掲示または掲載し、利用者及び地域住民に対し周知を図った。 ①備品本体に掲示 ②施設内に掲示 ③町ホームページに掲載						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も適切な管理を行いながら、計画的に事業を実施する。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補 助 事 業 名	上富良野演習場関連公共用施設（交通施設：道路維持作業機械更新）整備事業						
補 助 事 業 者 名	上富良野町長						
実 施 場 所	上富良野町役場（上富良野町大町2丁目）						
補 助 事 業 の 成 果 の 目 標	年間を通し、大雨等で発生した道路側溝の土砂上げ等の道路維持管理を適切に行い、道路の安全確保に務める。						
補 助 事 業 の 内 容	油圧ショベル 1台						
補 助 事 業 の 始 期 及 び 終 期	令和 7 年 7 月～令和 7 年 1 2 月						
事 業 費 及 び 交 付 金 額		令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度 予定	令和 9 年度 予定	令和10年度 予定	計
	事 業 費	円	円 5, 775, 000	円	円	円	円 5, 775, 000
	交付金額		5, 200, 000				5, 200, 000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	本事業の完了後、町道維持管理の従事者に聞き取りを行った結果は以下のとおりである。 ・クレーン仕様となったことから、作業の効率化が図られた。 ・エアコンが装備されたことにより、熱中症対策が図られた。 以上のことから、本事業の実施によって、適切な町道維持管理体制が確保され、適切な町道維持管理に寄与していると評価することができる。 また、本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金によって実施されている旨を以下の方法によって地域住民に周知を行った。 ・車両本体への事業名、防衛省エンブレム表示 ・町広報誌への掲載 ・町ホームページへの掲載						
事業の改善措置及び今後の対応	今後とも地域住民の理解を得ながら事業を実施する。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補 助 事 業 名	上富良野演習場関連公共用施設（教育文化施設：武道館改修）整備事業						
補 助 事 業 者 名	上富良野町長						
実 施 場 所	上富良野町武道館（上富良野町緑町1丁目9番4号）						
補 助 事 業 の 成 果 の 目 標	本町の武道館は、主にフォークダンス、バレエ、弓道や、少年団活動（空手、柔道、剣道、少林寺拳法）の練習や大会等で利用されている。 本施設を引き続き使用することは、本町住民のスポーツ活動を推進するうえで、不可欠なものである。 当該施設は、平成6年に整備され、30年が経過。建設以来、屋上防水等の大規模改修は未着手であり、当該年度において、屋上防水の改修を要する状況にある。 このため、本事業により改修を行い、施設利用者が今後も安定的に施設を利用できるよう整備する。						
補 助 事 業 の 内 容	屋上防水改修工事 一式						
補 助 事 業 の 始 期 及 び 終 期	令和7年7月～令和7年10月						
事 業 費 及 び 交 付 金 額		令和6年度	令和7年度	令和8年度 予定	令和9年度 予定	令和10年度 予定	計
	事 業 費	円	円 19,250,000	円	円	円	円 19,250,000
	交付金額		19,000,000				19,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	本事業を実施したことにより、屋上が改修され、施設の延命が図られた。 また、事業完了後には定期的にスポーツ少年団などが利用している。利用者からは「改修後、以前よりも快適に使用している」等の評価が得られている。 これらのことから、本事業は利用者の快適な施設の利用に寄与していると評価することができる。 本施設の改修が特定防衛施設周辺整備調整交付金により実施されている旨を、施設内での掲示、工事看板への記載及びホームページへの掲載により周知を行った。						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も適切な管理を行いながら、計画的に事業を実施する。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補 助 事 業 名	上富良野演習場関連公共用施設（消防に関する施設：消火栓更新）整備事業						
補 助 事 業 者 名	上富良野町長						
実 施 場 所	上富良野町						
補 助 事 業 の 成 果 の 目 標	当該消火栓は、整備後３０年以上経過し、老朽に伴う劣化が著しいことから、消防活動の維持を図ることを目的として、消火栓更新工事を実施するものである。						
補 助 事 業 の 内 容	消火栓更新 ４基						
補 助 事 業 の 始 期 及 び 終 期	令和７年８月～令和７年１２月						
事 業 費 及 び 交 付 金 額		令和６年度	令和７年度	令和８年度 予定	令和９年度 予定	令和１０年度 予定	計
	事 業 費	円	円 4,642,000	円	円	円	円 4,642,000
	交付金額		4,400,000				4,400,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	本工事の成果をもって、不具合が解消されたかを地域住民への聞き取り調査により確認した結果すべての住民から、消火栓が更新されたことにより防災生活環境の不安が改善されたと答えを得たことから本工事の成果があったと評価できると考える。 また、当該消火栓更新工事が特定防衛施設周辺環境整備調整交付金による事業である旨を以下の方法により、地域住民への周知を図った。 ①工事期間中、工区周辺等に設置する工事看板に記載 ②工事施工の際に周辺住民に配布する工事のお知らせ文書に記載 ③町ホームページへの掲載						
事業の改善措置及び今後の対応	今後とも地域住民の理解を得ながら事業を実施する。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補 助 事 業 名	上富良野演習場関連公共用施設（医療施設：医療機器等更新）整備事業						
補 助 事 業 者 名	上富良野町長						
実 施 場 所	上富良野町立病院（上富良野町大町3丁目2番20号）						
補 助 事 業 の 成 果 の 目 標	本町では町民の健康維持と予防・指導に力を入れており、また、当病院においては、普通診療及び救急医療に対応する医療機関として必要な医療機器整備を図り、疾病の早期発見・治療などの確な医療を目指している。 安定した医療の提供には、診療に必要な医療機器の整備が必要であり、そのため、本事業により耐用年数を経過した医療機器等を更新し整備することで、安定して良質な医療環境を提供し、町民の疾病の早期発見と治療に繋げる。						
補 助 事 業 の 内 容	大腸ビデオスコープ 1本、低周波治療器 一式、超音波診断装置 一式、ベッドサイドモニタ 一式、内視鏡洗浄消毒装置 1台、ストレッチャー 1台、診察台 1台、温冷配膳車 1台						
補 助 事 業 の 始 期 及 び 終 期	令和7年12月～令和8年3月						
事 業 費 及 び 交 付 金 額		令和6年度	令和7年度	令和8年度 予定	令和9年度 予定	令和10年度 予定	計
	事業費	円	円 17,554,460	円	円	円	円 17,554,460
	交付金額		16,500,000				16,500,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	本事業で医療機器等を整備更新したことにより、老朽化に伴う不具合が解消され、良質で安定的な医療環境が整備された。更新した機器について、医師及び看護師に聞き取りを行った結果は以下のとおりである。 ・大腸ビデオスコープ：機器の性能向上により画像が鮮明に見えるようになったことで迅速に診断ができ、検査時間の短縮、患者待ち時間の短縮に繋がった。 ・低周波治療器：吸引カップが薄型になったことで頸部治療に適していることや、機能性向上により低周波の刺激が均等且つ柔らかくなり治療効後の患者から楽になったなどの声が聞かれ満足度が高まった。 ・超音波診断装置：起動が早くなり、画質が向上したことで、迅速な診断と処置が必要な救急対応ができ患者救命率向上に繋がっている。 ・ベッドサイドモニタ：バッテリー内臓の機器に更新したため、病室変更や停電時でも継続して患者の状態を観察及び管理することが可能になった。 ・内視鏡洗浄床消毒装置：機器の性能向上により洗浄時間が短くなったため、担当する医療技師の負担軽減と患者の待ち時間短縮に繋がった。 ・診察台：老朽化による不具合が解消されたことから、患者が安心して検査を受けられる体制を整備することができた。 ・ストレッチャー：購入整備したことで、サイドレール（ガード）やキャスターの動作が改善され、患者を安全に検査室及び放射線室に移送することが出来るようになり、安全な医療環境の提供に繋がった。 ・温冷配膳車：更新したことにより温度ムラが解消し、より作り立ての状態で患者へ食事を提供することができ患者の満足度向上に繋がった。 本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金により実施されている旨を町ホームページに掲載したほか、備品本体への標示と院内掲示板へのポスター掲示を行い、地域住民への周知を図った。						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も医療機器及び病院内におけるその他の機器の現状を把握し、適正な管理を行いながら計画的に事業を実施する。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補 助 事 業 名	上富良野演習場関連公共施設（社会福祉施設：保健福祉総合センターデイサービスセンター特殊浴槽更新）整備事業						
補 助 事 業 者 名	上富良野町長						
実 施 場 所	上富良野町保健福祉総合センター（上富良野町大町2丁目8番4号）						
補 助 事 業 の 成 果 の 目 標	上富良野町保健福祉総合センターは、平成16年11月に開設し、健康遊浴施設、生きがい・健康づくり施設、在宅福祉施設を兼ね備えた福祉施設の拠点です。利用者は乳幼児から高齢者まで幅広く、各種住民健診、子育て支援、高齢者や障がい者への福祉サービスを提供しており、プールでの水中運動の利用、団体での軽体操、認知症予防など利用目的も多岐に渡っています。 センター内のデイサービス施設は、介護認定者の入浴や食事、機能訓練を行う、定員37名の通所介護事業所であり、高齢者が住み慣れた地域で安心して利用できる施設として、住民に必要不可欠なものです。 施設で利用している特殊浴槽は、平成16年11月以降、保守点検や修理を実施しながら利用してきましたが、設置後21年が経過しており、修理に要する交換部品の供給が困難な状況にあります。 このため、本事業を活用して特殊浴槽の更新を行うことにより、施設利用者が安全かつ快適に施設を利用することを目的とします。						
補 助 事 業 の 内 容	特殊浴槽 1台						
補 助 事 業 の 始 期 及 び 終 期	令和8年1月～令和8年3月						
事 業 費 及 び 交 付 金 額		令和6年度	令和7年度	令和8年度 予定	令和9年度 予定	令和10年度 予定	計
	事業費	円	円 12,078,000	円	円	円	円 12,078,000
	交付金額		10,052,000				10,052,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	本事業において、特殊浴槽が更新できたことにより、施設利用者が安全かつ快適に入浴サービスを提供できた。介護員からは「前特殊浴槽と比べ性能が上がったことにより、体の清拭作業の負担が軽減されたほか利用者の保温効果が上がった」と報告を受けている。以上のことから「町民の利便性の向上に繋がった」と評価している。 なお、本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金をもって実施されている旨を次のとおり掲示または掲載し、利用者及び地域住民に対し周知を図った。 ①備品本体に掲示 ②施設内に掲示 ③町ホームページに掲載						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も適切な管理を行いながら、計画的に事業を実施する。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補 助 事 業 名	上富良野演習場関連公共施設（スポーツ又はレクリエーションに関する施設：武道館備品更新）整備事業						
補 助 事 業 者 名	上富良野町長						
実 施 場 所	上富良野町武道館(上富良野町緑町1丁目9番4号)						
補 助 事 業 の 成 果 の 目 標	本町の武道館は、主にフォークダンス、バレエ、弓道や、少年団活動（空手、柔道、剣道、少林寺拳法）の練習や大会等で利用され、本町住民のスポーツ活動を推進するうえで、不可欠なものである。 当該施設は、平成6年に整備され、30年が経過。建設以来、柔道畳の更新が未着手であり、へこみ等の劣化により怪我の恐れがあることから、更新を要する状況にある。 このため、本事業により更新を行い、施設利用者が今後も安全・快適に施設を利用できるよう整備する。						
補 助 事 業 の 内 容	柔道畳 一式						
補 助 事 業 の 始 期 及 び 終 期	令和8年1月～令和8年3月						
事 業 費 及 び 交 付 金 額		令和6年度	令和7年度	令和8年度 予定	令和9年度 予定	令和10年度 予定	計
	事 業 費	円	円 9,735,000	円	円	円	円 9,735,000
	交付金額		9,400,000				9,400,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	本事業を実施したことにより、施設利用者の安全・快適な環境整備が図られた。 また、事業完了後には定期的にスポーツ少年団などが利用し、大会等も開催されている。利用者からは「畳更新後、以前よりも快適に使用している」等の評価が得られていることから、本事業は利用者の快適な施設の利用に寄与していると評価することができる。 柔道畳の更新が特定防衛施設周辺整備調整交付金により実施されている旨を、施設内での掲示及びホームページへの掲載により周知を行った。						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も適切な管理を行いながら、計画的に事業を実施する。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	上富良野演習場関連公共用施設（産業の振興に寄与する施設：特産物冷蔵保管用備品購入）整備事業						
補助事業者名	上富良野町長						
実施場所	郷土芸能資料館（上富良野町大町2丁目1-55）						
補助事業の成果の目標	上富良野町では特産品としてビールを製造しており、特産品振興のため町内外でのイベント等で販売を行っている。ビールについては要冷蔵であり、樽型容器に充填されているため家庭用の冷蔵庫では保管は困難である。R7年度までは町外の民間施設にて有償で冷蔵保管しているが、離れた場所にあるため出庫・入庫の際には時間がかかり、町内での一時的な保管場所も限られているため、品質を保持したままの安定供給に苦慮している。有償保管は費用が高く、経費の面でも負担が大きい。 また、新たな特産品として日本酒とポテトチップスを製造しており、常温保存品であるが夏季の高温状態が続く環境では品質低下の恐れがある。このことから、町内にプレハブ式大型冷蔵庫を設置することで経費の削減のほか特産品の品質保持と安定供給し、さらなる特産品振興を図る。						
補助事業の内容	プレハブ冷蔵庫 一式						
補助事業の始期及び終期	令和7年12月～令和8年3月						
事業費及び交付金額		令和6年度	令和7年度	令和8年度 予定	令和9年度 予定	令和10年度 予定	計
	事業費	円	円 3,520,000	円	円	円	円 3,520,000
	交付金額		3,100,000				3,100,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	令和8年6月開催のビアガーデンにおいて、当初の見込みを大幅に上回る来場者があり、急遽、特産品の追加補充が必要となったが、町内にプレハブ冷蔵庫を整備していたことにより品質を保持したまま、安定供給することができた。 本備品の整備が特定防衛施設周辺整備調整交付金により実施されている旨を、備品本体に掲示、庁舎内での掲示及びホームページへの掲載により周知を実施。						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も適切な管理を行いながら、計画的に事業を実施する。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

[illegible]